|  |
| --- |
| 名寄市職労青年部  VOL．３　2015年　２月４日 |
| 上川地本春闘討論集会  C:\Users\nakamura\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\Content.Word\IMG_2291.jpgC:\Users\nakamura\AppData\Local\Microsoft\Windows\INetCache\Content.Word\IMG_2223.jpg  ☆参加者☆  髙橋(弘)　堂前  本郷　　仁尾  神田　　中村  内藤　 平河内  伊部　　新田  ◀全体討論で発言を  する仁尾書記長  記  春闘（春季生活闘争）とは  　４月は民間企業の賃金が決まる時期なので、１～３月にかけて労働組合が賃金や勤務時間などの労働条件を要求し、産業別に経営側と交渉。民間企業と公務員の賃金は関わりがあるので一緒に闘う。  交流会では一村一品紹介があり、狙っていた比布町の「ぴっぷりん」をGET★美味しくいただきました(^O^)/  ▼神田書記次長  初の分散会報告  ▲とても明るい斉藤副部長🌼  １日目は、北海道本部青年副部長の斉藤さんから「理想のまちを目指して」と題した講演がありました。より良い住民サービスに向けて、理想と現実のギャップを埋めるのが労働運動であり、「１人の１００歩より１００人の１歩が大切。」との話があり、個人でなく、青年部全体で運動を行う重要性を学びました。その後、分散会・交流会を行い１日目は終了しました。  ２日目の分散会報告では、神田書記次長が「悩みや不満があれば仲間に相談し、個人の力だけでなく労働組合という大きな組織の力で課題を解決していこうと話し合った。」と報告しました。  その後、北海道本部女性部副部長の北口さんが「労働組合って必要なのか？」と題し講演を行いました。  夫婦が役場内で共働きをしているという理由で、町長から不当人事を受け辞めさせられそうになったが、労働組合の力に助けられたという内容でした。  全体討論では、仁尾書記長から「市町村長は一人の政治家であり、私達の賃金合理化や人員削減など労働条件に大きく関わってくることとなる。だからこそ政治闘争が大事。」と、政治が職場や生活に密接な関係があることを発言しました。  最後に、堂前上川地本青年部長が「働きやすい職場環境を作るためにも、仲間と思いを共有し課題解決に向け闘おう。」と集約し、全員の団結ガンバローで本集会は終了しました。  参加者からは「人事評価制度導入について、人それぞれ違う考えをもっているため、制度について正しく知る機会なども必要ではないかと感じました。」「これまで政治闘争ついて、なぜ取り組まなければならないのだろうと感じていた部分もありましたがこの講演を聞いて、  自分たちの望む職  場環境のためでも  あるのだと気付き  ました。」との声が  ありました。  　1月17日・18日の２日間、旭川市にて2015自治労上川地方本部青年女性春闘討論集会が開催され、20単組総支部141名（うち名寄市職労青年部からは9人）の仲間が結集し、学習・交流を行いました。 |